

お知らせ

平成 16 年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

物質構造科学研究所副所長 松下 正

物質構造科学研究所放射光研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものであります。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 16 年 4 月～平成 16 年 9 月
2. 応募締切日 平成 15 年 12 月 19 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A 4 判、様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名

4. 応募書類送付先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当り上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

入出構ゲートの運用の一部変更について

皆様も既にご承知の通り、8 月 1 日より入出構ゲートを運用しております。これまでは、車両入構証交付済の車両は、本機構発行の ID カード（身分証明書、放射線業務従事者用カード、図書室利用カード）で入出構が可能でしたが、カード読み取り機のシステムの不具合により、10 月 1 日以降は ID カード使用を中止し、入出構ゲート専用カードのみ使用可能と致しました。

つきましては、共同利用実験や研究会等でご来構の場合、次の手順で入出構をお願い致します。

インフォメーションセンターにて入構手続き。



車両入構証、入出構ゲート専用カードを受け取る。
ゲート開放時は、車両入構証をダッシュボード等の見やすい位置に提示して、ゲート閉鎖時は入出構ゲート専用カードでゲートを開けて通行。



車両入構証、入出構ゲート専用カードをカード返却口にて返却。

なお、ゲート開放時間帯、閉鎖時間帯は下記の通りです。

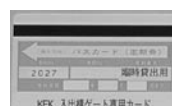
- ゲート開放時間帯（平日のみ）
8:00～10:00、11:30～13:30、16:00～19:00
- ゲート閉鎖時間帯
平日 10:00～11:30、13:30～16:00、19:00～8:00
土曜日、日曜日、祝祭日は終日

お問い合わせ先：総務部経理課用度第二係

TEL: 029-864-5154



入出構ゲート閉鎖時



入出構ゲート専用カード（左）と臨時車両入構許可証（右）

PF-AR 及び構造生物実験準備棟の 自転車置き場の新設について

技術部物質科学 岡本 渉
物質科学第二研究系 加藤龍一

ー昨年の PF-AR リングの高度化、AR 北棟におけるビームライン新設、AR 北西棟新築とそのビームラインの新設に伴い、今まで以上に PF-AR 棟で研究活動を行うスタッフ、ユーザーの数が増加してきました。これに伴い、PF-AR に 2 カ所と構造生物実験準備棟に 1 カ所、それぞれに屋根付きの駐輪場を設置いたしました。どうぞ御利用下さい。



PF-AR NE 棟



PF-AR NW 棟



構造生物実験準備棟

予 定 一 覧

2003 年

- 12 月 19 日 平成 16 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
- 12 月 19 日ー 20 日 PF 研究会「ナノテクノロジーと高分解能電子分光」
- 12 月 20 日 応用物理学会結晶工学分科会 2003 年・年末講演会「放射光で測る・探す・作る」
- 12 月 24 日 PF、PF-AR 平成 15 年度第二期ユーザー運転終了

2004 年

- 1 月 8 日ー 10 日 日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム
(物質・材料研究機構材料研究所、エポカルつくば)
- 1 月 16 日 PF 平成 15 年度第三期ユーザー運転開始
- 1 月 19 日 PF-AR 平成 15 年度第三期ユーザー運転開始
- 3 月 19 日 PF-AR 平成 15 年度第三期ユーザー運転終了
- 3 月 23 日 PF 平成 15 年度第三期ユーザー運転終了
- 3 月 24 日ー 25 日 第 21 回 PF シンポジウム

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getscht.txt> でご覧下さい。

物質構造科学研究所・構造生物学研究センター 博士研究員および技術員募集

<p>【研究室紹介】当センターは若槻教授をヘッドとして2000年春に発足した新進の研究室で、助教授1名、助手5名の研究スタッフの他、ポスドク等研究員6名、研究支援者10名、博士課程大学院生3名が現在のメンバーである。本センターは放射光X線結晶構造解析ビームラインの建設、運営、共同利用ユーザーのサポート、ロボティクスを用いた構造解析高度化のための新規技術開発を鋭意進めると共に、細胞内輸送と糖鎖修飾の分子機構を明らかにするため、それらに関わる蛋白質の構造プロテオミクス研究に取り組んでいる。その成果の一部、糖タンパク質輸送に関わるタンパク質の解析結果は既に有力誌に発表されている (<i>Nature</i> 415, 937-941, 2002, <i>Nature Structural Biology</i>, 9, 527-531, 2002, <i>Nature Structural Biology</i> Vol. 10 No. 5, p.386-p.393, May 2003)。</p>
<p>【業務内容】</p> <p>① 博士研究員、テクニシャン</p> <p>当センターの研究テーマに沿って、自立的に研究を行うことを期待する。具体的には</p> <p>(1) 組換えDNA技術による蛋白質の大量発現系の構築</p> <p>(2) その蛋白質精製法の確立と精製蛋白質の生化学的性質の研究</p> <p>(3) 結晶化と放射光ビームラインを用いたX線結晶構造解析</p> <p>(4) 構造情報に基づいた生化学的・細胞生物学的解析</p> <p>などを行い、最終的には生命の分子機構の解明や、構造に基づいた創薬や新しい医療法の開発を目指す。</p> <p>② テクニシャン</p> <p>蛋白質構造解析の補助(回折実験、構造解析等)として・放射光実験施設での回折データ収集・回折データの処理及び評価・構造解析を行い、業務の補助を行う。</p> <p>③ 博士研究員、テクニシャン</p> <p>結晶構造解析(位相決定法)に関するアルゴリズム・方法論の開発を行う。</p>
<p>【応募資格】①②③に共通。大卒以上。蛋白質構造解析の知識があることが望ましいが、経験がなくても蛋白質の構造解析に情熱を注げる方であれば可。物理の素養はある方が良い。博士研究員については、学位を取得しているか、取得見込みのこと。</p>
<p>【募集人員】それぞれ若干名</p>
<p>【提出書類】履歴書、業務経歴書、博士研究員の場合は主要論文の別刷りと今までの研究概要。可能であれば指導教官の推薦書。</p>
<p>【着任時期】決定次第</p>
<p>【待遇】科学技術振興調整費、あるいはタンパク3000プロジェクト予算による雇用なので、年度毎更新。給与や休日は本研究機構の規定による。</p>
<p>【書類提出・送付先】〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・構造生物学研究センター・センター長 若槻壮市 Tel: 029-879-6178, Fax: 029-879-6179, http://pfweis.kek.jp/index_ja.html</p>
<p>【連絡先】若槻教授室、秘書、永田直美 TEL: 029-879-6178 Email: naomi@post.kek.jp 業務に関する問い合わせ先:</p> <p>① 加藤龍一 TEL: 029-879-6177 Email: ryuichi.kato@kek.jp ② 鈴木 守 TEL: 029-864-5649 Email: suzuki@pfweis.kek.jp ③ 松垣直宏 TEL: 029-864-5647 Email: mtgk@pfweis.kek.jp</p>
<p>【付記】本応募による博士研究員は、放射光ビームラインの維持等に関わる業務にはタッチしません。詳しくは直接お問い合わせ下さい。</p>